

態ハ上流北又谷及越道落合ヨリ下流大字音澤字黒薙迄ノ
範圍内ニシテ湧水量ヲ標準トシ一、〇〇〇馬力以上ノ地點
水ニテ二三、三九一平水ニテ三一、七三四馬力ヲ有ス

黒薙川水力地點表

順位ニ()ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ
落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	互水長路	面積	能發電率	年平均馬力數	等級
八六五	黒薙川 (北又谷)	一	富山縣下新川郡愛本村 越道落合	同 音澤 郡愛本村 柳又谷落合	湧水 六九 低水 九四 平水 一一五	*三四〇	二、六〇四 三、五四八 四、三四〇	一、〇一〇	二、七二	一〇〇・〇 九六・八 八七・一	二、〇〇五 三、四三三 三、七六〇	甲
(八六六)	同	二	富山縣下新川郡愛本村 音澤 黒薙井頭	同 音澤 愛本村 音澤 黒薙	湧水 一六六 低水 二二六 平水 三二二	*七九一	一四、五七五 一九、八四三 二七、三九四	二、八〇	六、五七	一〇〇・〇 九六・八 八七・一	一、四、五七五 一九、二〇八 三、八〇〇	甲

水力地點ノ説明

順位八六五 黒薙川ノ上流北又谷及越道落合ヨリ取入
レ柳俣谷落合附近ニ於テ黒薙川ニ放水スルモノトス

順位八六六 前地點ノ下流約二町ノ處ニ取入口ヲ設ケ
左岸ニ導水シテ黒薙川落合附近ニ於テ同川ニ放水スルモ
ノトス

前記諸地點間ニハ高低幅員共不規則ナル黒薙温泉道一
條アルノミニシテ同温泉ヨリ上流ハ道幅狹キ所謂山道ニ
シテ交通運搬ノ便ヲ缺ク。流水多少アレトモ其ノ他灌漑

用水關係ナシ。域内ハ降雪量多キ爲雪崩除ケ等相當設備
ノ要アルヘシ

第十二章 片貝川水系

一、流域

全面積

- 山地 一三、六方里
- 平地 一一、一方里
- 内 二、五方里
- 利用シ得ヘキ面積 八、九方里

地勢 片貝川ハ源ヲ立山山系ノ猫又山ノ西麓ニ發シテ
西北流スル南又川及同上山系毛勝山ノ北麓ヲ出テ西走
スル東又川ヲ合シテ成レルモノニシテ北轉シ蜿蜒迂曲シ

片麻岩ノ山嶽地方及第三紀層ノ丘陵地ヲ過キ片貝谷村大
字道坂ニ出テ第四紀層ノ越中平野ヲ貫流シ魚津町ノ北方
約一里ノ海ニ盡ク其ノ河口ニ近ク立山山系僧ヶ嶽ニ源ヲ
發スル一支流布施川ヲ吞ミテ共ニ富山灣ニ注ク

流域ノ東方ハ猫又山、毛勝山、僧ヶ嶽及烏帽子山ヲ連ネテ
黒部川流域ト界シ西及南ハ猫又山ヲ起點トシテ北西ニ連
亘セル一山脈ヲ隔テテ常願寺川及早月川ヲ控ユ

水源地方ハ何レモ海拔三、三〇〇尺乃至七、九〇〇尺ノ峻
嶺巍峨トシテ聳エ直ニ北方日本海ニ向ツテ傾斜シ其ノ勾
配頗ル急ナルモノアリ而シテ流域ハ上流地方ニ於テ幅廣

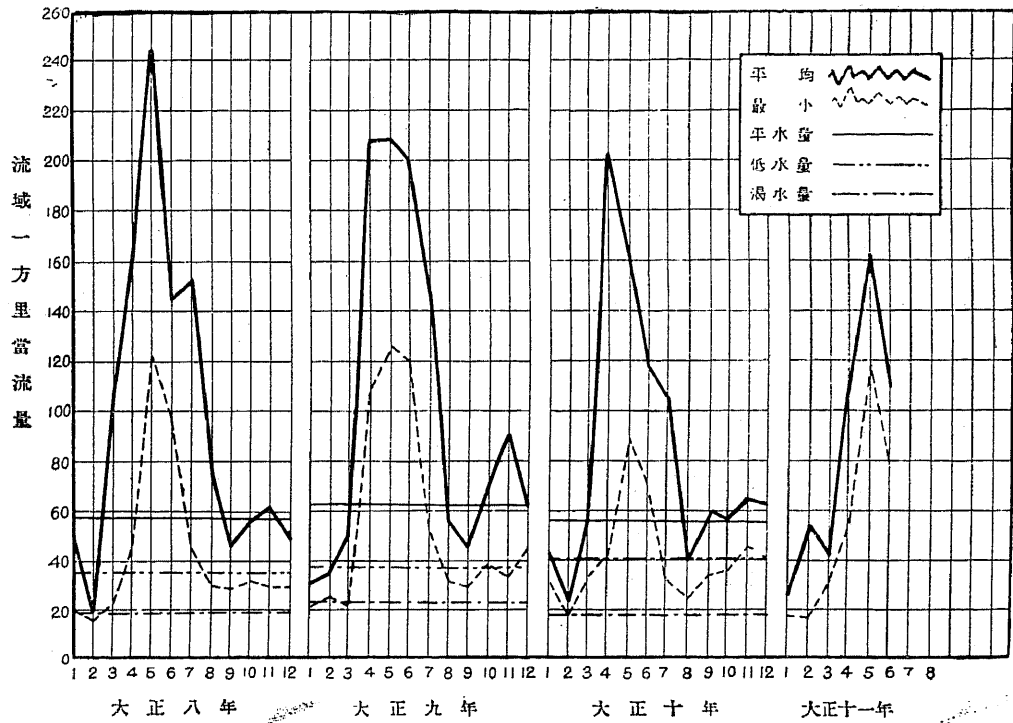
片貝川水系流量表

順位	番順位	河川	測水所	面積	流量				流域一方里當流量				
					年次	最大	平水	低水	最大	平水	低水	最小	
三三七	一	片貝川	富山縣下新川郡片貝谷村 奥平澤	四、四	大正八年 五、二〇〇 大正九年 四、一〇〇 大正十年 三、九〇〇 大正十一年 三、九〇〇 平均 三、九〇〇	二、四〇	一、五	八、五	一、七	五、七	三、七	一、七	一、七

ク下流大字道坂附近ニテ最狹迫シ恰モ銚子ノ形ヲ成シテ
北西ニ延フ
地質 古生代生成ノ片麻岩層ハ美濃、飛騨高原ノ北部ヨ
リ起リ本水系ノ大半ヲ構成ス之ニ續キテ第三紀層、第四紀
層ノ洪積層及沖積層ノ海岸平野ニ終ル其ノ他前述地層ヨ
リ進發セル安山岩ハ最上流水源部ノ山嶽ヲ作り又ハ下流
黒谷附近ニ少シク露出ス而シテ結晶片岩ノ北俣谷ニ小區
域ヲ見ルハ異トスルトコロナリ

林野狀態 域内山林面積約九、六方里ニシテ殆ト流域全
土ヲ掩ヒ内國有林ハ二、三方里ニシテ主トシテ上流水源部
ニ鬱蒼タル美林ヲナス。樹種ハ潤葉樹大部ヲ占メ山毛櫸
ニ富ム針葉樹ハ其ノ範圍狹ク梅、杉ヲ交ユ。山相概シテ
良好ニシテ原野、耕地ハ山麓及海岸地方ニ播布シ其ノ面積

片貝川水系片貝川(奥平澤測水所) 各月平均及最小流量圖



又狭小ナリ
 二、河川状況 上流東又川及南又川ハ共ニ河幅狭ク兩岸
 迫リ河床勾配又急ニシテ巨岩大石河中ニ亂積シ水流奔放
 ス之ヲ下リテ同上合流點附近ニ至レハ山勢稍緩和スレト
 モ更ニ少シク下レハ山勢再ヒ急峻ヲ加フ、奥平澤ニ至レハ
 兩岸漸ク潤ケ田園山村ヲ見ルニ至ル然レトモ河川勾配猶
 急且河中大玉石壘々シ流水激シテ飛瀑相連ル、片貝谷村大
 字黒谷ヲ過クレハ兩岸更ニ展開シ一面ノ耕地擴カリ水勢
 又衰ヘ所々砂礫洲ヲ堆積ス而シテ下流海岸附近ニ於テ右
 岸ニ布施川ヲ合流ス
 利用シ得ヘキ範圍 本川ニ於テハ上流合流點附近ヨリ
 下流約三里片貝谷村大字黒谷迄ニシテ落差約一、〇〇〇尺、
 支流東又川及南又川ニアリテハ上述合流點ヨリ上流二十
 餘町ノ間トス
 流量ノ變化 本地方ハ冬季多量ノ降雪アレトモ之ハ直
 ニ河川水量ヲ肥ナス春陽來復ト共ニ溶ケテ河水ヲ養フ、從
 ツテ冬季一、二月及初春三月ニ減水シ就中二月ニ最涸水ス
 春季四月ヨリ夏季七月迄ハ著シク増水スルモ其ノ他十一
 月ニ更ニ第二次増水ヲ見ル
 流域一万里當ノ流量ハ一般ニ大ニシテ渴水量ハ普通二

○個ヲ超ニ隣川黒部川、早月川及常願寺川ト共ニ流量豊富ナル一區域ヲ劃ス

三、氣象 片貝川流域内ノ氣温ハ山嶽地方及本川中流部ニ於ケル觀測ノ結果ニヨリ之ヲ見ルニ山嶽地方ハ本川中流部ヨリ約八度低ク猶又沿海地方ニ比スレハ約一三度低キヲ示ス之レ沿海地方ハ直接海流氣温ノ影響ヲ受クルニ反シ山嶽地方ハ寒冷ナル氣風ニ接觸スルコト大ナルニ起因ス又域内降水量ノ季節的變化ヲ見ルニ一年ヲ通シ降水

灌溉用水調

用水名	取入口	灌溉反別	灌溉町村	記事
鴨川合口用水路	下新川郡片貝谷村大字島尻地内	八五二	下新川郡魚津、上野方、下野方、片貝谷、道下、加積	左岸
經田用水路	下新川郡加積村大字横杭村地内	一六二	下新川郡道下、經田	同
荒井用水路	下新川郡片貝谷村大字黒谷村地内	一九一	下新川郡上野方町	同

本川ハ河川法ノ準用ヲ受ケ其ノ區域ハ左岸下新川郡片貝谷村大字黒谷字中島、右岸下新川郡片貝谷村大字黒谷字藤田黒谷橋以下海ニ至ル間トス

本川ノ水利ハ既ニ其ノ使用許可濟トナリテ餘ス地點殆トナシ

流木ハ冬季僅ニ之ヲ認ムルノミ、漁收ニハ鱈等アレト

量最多キ期間ハ冬季ニシテ就中十二月最多シ以後漸次減少シテ夏季七月稍多量トナリ八月ヨリ十月ニ亘リ再ヒ減少ス、八月最少クシテ十月之ニ亞ク。域内一般ニ夏季八月ヨリ秋季十月ニ亘リ旱天引續キ秋雨等ノ來襲渺キカ如シ
 四、治水及水利事業 本川沿岸中耕地多キハ片貝谷村大字黒谷ヨリ下流ニシテ本川河水ヲ引用スル灌溉用水關係ハ同所附近ヨリ始マル今其ノ主ナルモノヲ擧クレハ左ノ如シ

モ其ノ年産額大ナラス

五、水力地點 片貝川流域内ニ於ケル水力地點ノ分布狀態ハ片貝谷村地内阿部木谷落合ヨリ同村大字東山迄ノ範圍内ニシテ渴水量ヲ標準トシ一、〇〇〇馬力以上ノ地點三箇所アリ其ノ發生馬力數渴水ニテ六、三一八、低水ニテ二、〇〇九、平水ニテ一九、八〇六馬力ナリ内二箇地點ハ許可ニ

關係シ日本鋼管株式會社及富山電氣株式會社ノ所有ニシテ何レモ工事未著手ナリ此ノ外既ニ開業ニ屬スル富山電氣株式會社ノ一箇地點及本川支流布施川ニ於ケル布施川水力電氣株式會社ノ許可ニ屬スル一箇地點アリ後者ハ目

下工事中ニ屬ス以上許可地點ノ最大使用馬力ハ三〇、七七五馬力ニシテ河川利用範圍内ニ於ケル全水力ハ三三、九二三馬力地點數五箇所アリ

片貝川水力地點表

順位ニ()ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ
落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水路	流域面積	能發電率	年平均馬力數	等級
(八六七)	東又川	一	富山縣下新川郡片貝谷村 阿部木谷落合	同郡片貝谷村 南又川落合	湯水 三六 低水 六二 平水 一〇三	*五〇〇	一九九八 三四四一 五七一七	一、五三〇	一、七七一	一〇〇・〇 九五・三 八四・三	一九九八 三、二六六 四、八一九	甲
(八六八)	南又川	一	富山縣下新川郡片貝谷村 小澤谷落合	同郡片貝谷村 東又川落合	湯水 三二 低水 五七 平水 九四	*三三〇	二〇八八 三、四四三	一、一四〇	一、六一	一〇〇・〇 九五・三 八四・三	一九九八 二、九〇三	乙
八六九	片貝川	一	富山縣下新川郡片貝谷村 黒谷	同郡片貝谷村 東山	湯水 一〇二 低水 二一〇 平水 三四五	*二七八	三一四八 六、四八〇 一〇、六四六	三、五二〇	五九九	一〇〇・〇 九五・三 八四・三	三、一四八 六、一六九 八、九七五	甲

水力地點ノ説明

順位八六七 阿部木谷落合ヨリ取入レ南又川落合附近ニ於テ放水シ水路延長一、五三〇間内隧道四五〇間トス
順位八六八 小澤谷落合ニ取入口ヲ設ケ左岸ニ取入レ

隧道八四〇間開渠三〇〇間ニテ東又川落合附近ニ於テ本川ニ放水ス
順位八六九 黒谷ニ於テ取入レ同村字東山内ニ於テ

隧道一、〇五〇間トス

前記諸地點附近ニハ縣道開通セルヲ以テ工事用材料並諸機械等ノ運搬ニ大ナル困難ヲ見ス。灌溉用水ニシテ水力地點ニ關係ヲ有スルモノハ下流黒谷地内ニ大面積ヲ灌溉スル水路ニシテ水量ノ分與等相當ノ考慮ヲ要ス。電力供給ニ就テハ魚津方面ニ於ケル既設會社ニ供給スルカ或ハ富山市方面ニ送電消化ノ他ニ途ナカルヘシ

第十三章 早月川水系

一、流域

全面積

一三八方里

利用シ得ヘキ面積

八七方里

地勢 立山山系ノ雄峰劍嶽及仙人山ノ南麓諸溪水ヲ集メタル白萩川ハ立山別山ヨリ流レ出ル立山川ヲ併セテ早月川トナル本川之ヨリ西流シ左ニ立山山系中ノ一大支脈ナル大日嶽早乙女嶽等ヨリ流下スル小又川及芦見川ヲ入レ漸次北轉シ第三紀層ノ丘陵地ニ入り蜿蜒約九里遂ニ魚津町ノ南方約半里ニテ富山灣頭ニ出ツ
流域東北方ハ立山山系ノ一支脈ニヨリ片貝川流域ニ接

シ西南方ハ大日嶽早乙女嶽ヲ連ネテ西北ニ延ヒタル分水嶺ニヨリ常願寺川及上市川水系ヲ控ユ。地形ハ水源地方ニ於テ幅廣ク中新川郡東加積村大字箕輪附近ニテ咽喉ヲ扼サレタル瓢形ヲナシ同郡白萩村ノ大部及下新川郡片倉村ノ一小部分ニ跨ル

地質 濃飛高原ノ北部ヨリ起レル片麻岩層ハ流域上流部及中流部ヲ構成シ之ニ續キテ第三紀層及第四紀層ノ小區域ヲ過キテ海ニ達ス其ノ他上流水源部ニハ片麻岩ヲ貫キテ安山岩ノ露出セルモノアリ

林野狀態 流域上流部ハ全部潤葉樹林ニシテ板山毛櫸檜栗等密生シ殆ト天然林トス其ノ内約二、五〇〇町歩ハ國有林ニ屬シ他ハ概ネ公有林又ハ民有林ナリ國有林ニハ概シテ不良岩石ノ露出セル窪地多ク全林ヲ保安林ニ編入シ公有林ハ約七〇ばいせんト、民有林ハ約一〇ばいせんトヲ保安林ニ編入シアリ、針葉樹林ハ多ク人工林ニシテ杉又ハ檜ヲ主トス中流部ヨリ下流部ニ至リテ雜木芝生地ヲ加ヘ沿岸所々耕地散點シ森林狀態漸ク不良トナル

二、河川狀況 流域水源地方ハ劍嶽、立山別山等ニテ分水嶺ヲナン何レモ海拔約一〇、〇〇〇尺ニ垂ントシ急ニ西北ニ下ルヲ以テ河川勾配甚タ急ニシテ巨石、大岩亂積シ水流